

歴史と文化を考えよう

'97 江東区文化財保護強調月間

下町文化

第 186 号

平成 9 年 9 月 15 日

発行

江東区教育委員会
生涯学習部生涯学習課



名所江戸百景「深川三十三間堂」

太田記念美術館蔵

今年も最大の年中行事のひとつ、文化財保護強調月間がまもなくやってきます。教育委員会では、10月4日から11月7日までの1か月間、「歴史と文化を考えよう」を台言葉にさまざまな催しをおこないます。伝統的な技の実演公開や地域の歴史と生活を知るための展示などをご覧ください。また、あらためて江東区を見つめ直していただくというものです。ぜひこの機会に、江東区の歴史と文化にふれてみてください。

民俗芸能公開

10/5日・10/19日

木場の筏師(川並)によって始められた「木場の角乗」、佐賀町の倉庫街で働く人々から生まれた「深川の力持」など、江東区に伝わる伝統的な民俗芸能を公開いたします。江戸時代、仕事の合間や、庶民の生活の中から生まれ、長い間受け継がれてきたもので、まさに地域に根ざした伝統の「技」といえるでしょう。

現在では、民俗芸能として保存会や睦会により継承・公開されています。技術の継承は保存会・睦会会員の方々の日頃からの努力によるものといえます。会員の皆さんによって守り続けられてきたさまざまな「技」を、ぜひ一度この機会にご覧ください。



木場の角乗



深川の力持

演目は次のとおりです。

10月5日(日) 角乗・力持公開

午後1時～4時

木場角乗保存会「木場の角乗」

深川力持睦会「深川の力持」

10月19日(日) 民俗芸能大会

午前11時～12時

木場角乗保存会「木場の角乗」

午後1時～3時40分

木場木遣保存会「木場の木遣」

砂村囃子睦会「砂村囃子」

「獅子舞」

富岡八幡の手古舞保存会

「富岡八幡の手古舞」

深川力持睦会「深川の力持」

*会場はいずれも都立木場公園

文化財保存強化デー 10/6日～10/8日

「殺虫・燻蒸サービス」

木や紙、布などを素材とした文化財は、虫喰いやカビによる被害を受けやすく、放っておくと被害が進む一方です。

文化財係では、皆さんが持ちの古文書や絵画、木彫刻などの文化財に24時間の殺虫・燻蒸サービスを行います。大切な文化遺産を守るため、

ぜひこの機会をご利用ください。ご希望の方は、9月30日(火)までに教育委員会文化財係まで電話にてご連絡ください。



燻蒸前のようす

公開講演会 10/8日・10/15日

「文化財の保存に向けて」

文化財保存に関する2回にわたるお話しです。8日は、日本とヨーロッパの比較をもとに文化遺産の現状と保存について、16日は石造物や建造物、さらに身近にあるモノをいかに保存していくかといった内容です。

この機会にぜひ皆さんの身近にある文化財の保存について考えてみてはいかがでしょうか。

講演内容

講演「文化財保存のあり方」

講師 江東区文化財保護審議会委員

段木 一行

日時 10月8日(水)

午後6時30分～8時30分

会場 教育センター2階第3研修室

*

講演「文化財保存の方法」

講師 東京国立文化財研究所

名誉研究員 見城 敏子

日時 10月15日(水)

午後6時30分～8時30分

会場 教育センター2階第3研修室

参加ご希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキ(電話も可)で文化財係迄お申込みください。

歴史と生活展 10/4(土)〜10/12(日)

昨年まで総合区民センターの2階ロビーで開催してきました「歴史と生活展」は、本年度より会場が深川江戸資料館(白河1-3-28)レクホールに変わりました。展示構成もいくつかのテーマに基づいて行なったこれまでのものとは大幅に異なり、ひとつのテーマに関する展示を行います。ただし、区民の方々からご寄贈いただいた民俗資料を中心に展示する点が変わりません。皆さんの住む江東区の歴史について、興味をもっていたければ幸いです。

なお、本年度のテーマは、「深川 獵師町の歴史と暮らし」です。
深川 獵師町とは？
深川 獵師町は、江戸時代初期の寛永6年(1629)に隅田川河口(現在の佐賀・永代・福住辺り)に成立した漁業専従の「漁村」でした。相川町、熊井町など8カ町から成っており、



永代橋佃し
深川 獵師町はその総称です。漁業では、

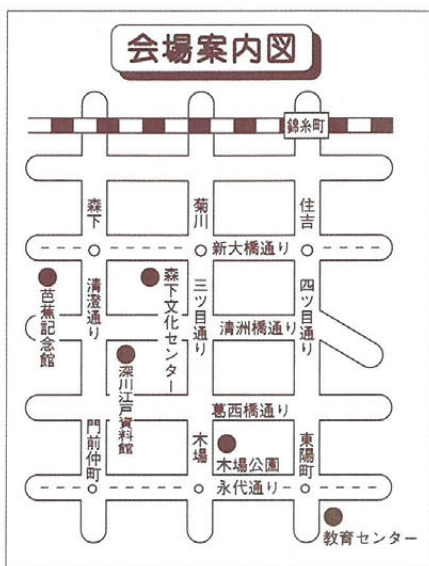
採れた魚介類を幕府に献上するとともに、広い範囲で漁業を行う特権を有していました。



海苔干し用のすだれ

明治になる
と、獵師町の辺りは「浜十四町」といわれるようになりました。また、漁業の主体も村から漁業組合へと移りました。漁獲物は魚介類が中心で、明治以降は海苔養殖が盛んになりました。しかし、水質汚濁と東京湾整備という時代の流れには逆らえず、昭和37年に漁業権を放棄しました。

今回の展示では、江戸(東京)近郊に成立した深川 獵師町の発展から昭和37年の漁業権放棄までを寄贈資料はもちろん、年表やパネル・江戸図・写真などによってできるだけわかりやすく解説いたします。開催時間は、午前9時〜午後5時(12日は3時迄)です。団体見学等詳しくは文化財係までお問い合わせください。



問合・申込先
生涯学習課文化財係
住所 〒135 江東区東陽4-11-28
☎3647-9111 内線3361〜2

伝統工芸展 10/29(木)〜11/3(日)

区内に住む様々な職種の職人さんの「わざ」を紹介する伝統工芸展は、10月29日から11月3日まで「工匠館」(森下文化センター内)においておこなわれます。長年にわたって受け継がれてきた「わざ」に、数々の作品展示・実演をとおして接することができます。

会場は展示・解説、実演公開、職人体験の3コーナーに分けられています。展示は、職人さんが普段の仕事で使っている道具や作品を展示して

チャリティーバザール

伝統工芸保存会による作品販売のコーナーです。数少ない機会ですので、ぜひ立ち寄り、ご覧になってみてください。

おしらせ

強調月間協賛事業

時雨忌(芭蕉忌)講演会

10月12日は、俳聖松尾芭蕉の命日です。芭蕉記念館では、この日にちなんで時雨忌(芭蕉忌)講演会を開催します。

日時 10月12日(日)

午後3時30分～5時

会場 1階会議室

演題 「俳感・実感」

講師 俳人・

「木語」主宰

山田みづえ

定員 50人

(先着順)

費用 無料

申込 電話

で芭蕉記

念館へ

☎ (3631) 1448



第一回 江東ふるさと歴史研究 論文発表・記念講演会

「江東ふるさと歴史研究」は、区民の皆さんが、ふるさと江東区の歴史や文化について調査、研究したことを論文にまとめ発表するためのものです。平成9年度の論文発表と記念講演会を左記のとおり開催します。なお、当日会場へお越しの方には、入選論文を掲載した「江東ふるさと歴史研究」を差し上げます。

入選論文

「庚申塔についての考察—江東区を中心として—」

「江東の埋立と市街地形成の特質」

「深川村の考察」

「深川における醤油醸造業」

「伝承・掘切八幡社流失考」

「郷土史から地域史へ」

「江東区文化財保護審議会」

「深川江戸資料館2階小劇場」

「江東区白河1-3-28」

費用 無料

参加 自由、会費1000円

連絡先 細田隆善(3641)5780

芭蕉記念館から

俳句会

日時 9月30日(火) 午後1時30分

会場 2階研修室

内容 兼題 秋季雑詠3句

席題なし

対象 区内在住・在勤の方50人

費用 無料。句報の送付をご希望の方は、80円切手貼付宛先明記の封筒をお持ち下さい。

締切 9月29日(月)

申込 窓口または電話で

ジュニア俳句教室

日時 10月11日(土) 午前9時30分

会場 芭蕉記念館2階研修室

内容 俳句をつくってみよう

対象 区内在住の小学生30人

費用 無料(筆記用具持参)

締切 10月10日(金)

申込 窓口または電話で

文学講習会

(A)コース 下町の俳人たち—久保田

万太郎・芥川龍之介・橋本夢

道・富田木歩・石田波郷—

期間 10月17日～11月14日

毎週金曜(5回)

毎週金曜(5回)

時間 午前10時～11時30分

講師 成瀬櫻桃子・中田水光・前田

吐実男・松本哉・肥田埜勝美

(B)コース 蕪村の句会を分析する

期間 10月17日～11月14日

毎週金曜(5回)

時間 午後6時30分～8時

講師 東洋大学短期大学教授

谷地 快一

(A)・(B)両コースとも

対象 区内在住・在勤の方

定員 50人(多数の場合は抽選)

受講料 無料

(プリント代等教材費は実費)

申込 往復ハガキに住所、氏名、電

話番号、年齢、受講希望コー

スを書いて芭蕉記念館へ

* (A)・(B)両コースとも希望する場合

は、別々のハガキで

締切 10月3日(金)必着

◇〒135 江東区常盤1-6-3

江東区芭蕉記念館

☎ (3631) 1448

たくみのやかた

工匠館から

工匠番館で毎月第一・三日曜日

に行っています「伝統の技 実演公

開」は、10月および11月の第一日曜

日はお休みいたします。